

## 第1回ワークショップの結果概要（案）

### 【検討の進め方】

#### ■ 検討の進め方

- ・ 地域の強みや全体のビジョンをまず考えた上で、公共施設のあり方を考える必要があるのではないか。
- ・ 数値だけに基づいて市内を一律に考えるのではなく、この地域の歴史や背景などの地域性や住民の思いを理解した上で進めて欲しい。
- ・ 小学校の跡地利用はこの地域にとって重要な問題だ。住民の関心が高く、具体的なので意見も出しやすいと思うので、この場でしっかりと話し合いたい。
- ・ 地域内の公共施設を取捨選択し結果として減らすことがこのワークショップの目的ではないかと思った。
- ・ 施設の統廃合については、現在の機能をなくしてから活用のあり方を検討すると施設が長期間放置されてしまうので、まずあり方や方向性を決めてから統廃合して欲しい。
- ・ ワークショップでは、代理の可否やグループ編成などを工夫し、思いを持っている人が参加しやすく、この場にいる人の多様な意見が聞ける様な進め方を検討して欲しい。

#### ■ 情報提供

- ・ 各施設の築年、耐用年数、利用率、修繕に必要な費用など、話し合いのベースになるデータを提供して欲しい。
- ・ 市によって面積や人口密度、税金などの条件が異なるのだから、他都市との比較の際にはそれらを踏まえないと恣意的に感じる。公正なデータ提供をして欲しい。
- ・ 行政側のビジョンや方針があるなら示して欲しい。小学校跡地については噂もいろいろ出ているので、現状で知り得る情報や考えている方向性についても教えて欲しい。

#### ■ 意見の反映

- ・ 市としての着地点は決まっているにも関わらず、住民意見を聞きましたというアリバイ作りのためにこのワークショップを開催しているのではないかという懸念がある。
- ・ このワークショップで検討された結果が今後の計画につながる様にして欲しい。参加者側も良い提案をし、話したことを無駄にしない様にしたい。
- ・ 全ての意見が反映できるとは限らないとのことだが、市にとって都合が良い意見だけを採用するのではなく、できない場合にはなぜできないかをきちんと回答して欲しい。
- ・ 小学校の跡地利用について、住民の要望を反映させた検討をして欲しい。

**【公共施設の現状の課題】****■ 施設利用料金**

- ・ 体育館などは有料化されたために明らかに使われなくなった。利用料金は、利用率への影響を踏まえて考える必要がある。
- ・ 利用料金がかからない学校などの施設に人が流れているが、その学校が廃校になると利用者がいなくなるのではないかと心配だ。
- ・ 新しさや設備の充実度が違うのに同じ料金というのは納得できない。利用料金には新しさや施設の充実状況などが反映されるべきだ。
- ・ 市街地でも田舎でも市内で料金が一律であることが納得いかない。利用されない施設が生まれるので、結局、無駄を生んでしまう。
- ・ 体育館での学生の部活動も有料となっているが、もっと柔軟に対応できないのか。

**■ 施設までのアクセス**

- ・ バス路線が無く、鉄道駅からも遠いため、車に乗れないとどこにも行けない。車に乗れない人が集まるにはどうするかを考える必要があるのではないかと。
- ・ 福祉施設や病院の送迎用のバスがあるが、時間が決まっていたり、高齢者しか乗れなかったりするので融通が利かない。
- ・ 体育館などの施設には地区をまたいで行くことに抵抗はないが、一方で学校や集会所など地区内に欠かせない施設もある。

**■ 利用状況（利用率、手続きなど）**

- ・ 一部に良く利用されている施設はあるものの、ほとんど利用者がいない施設も多く、有効に利用されていないことが問題だ。
- ・ 施設の設備内容や利用料、申し込み方法などの情報が無いことや、料金の支払いやキャンセルの手続きが面倒なことが利用率を下げているのではないかと。

**【公共施設をめぐる今後の課題】****■ コストの問題**

- ・ たとえお金がかかっても、利用者が少なくても必要な公共施設はある。農村部のコストが高いのなら、中心部で儲けてその分を充ててくれれば良いのではないかと。
- ・ 施設の老朽化が進んでおり、コストのことを考えると集約する等の対策を取るのはい

むないと思う。

- ・ 施設整備をする際にはただ安ければ良いというわけではない。中途半端だと結局維持管理費を賄えない場合もあるので、品質を保てるだけの投資はする必要がある。
- ・ 管理には確かにお金がかかるので、利用者が負担したり、メリット、デメリットを考えて直営か指定管理者かを選択したりして対応したら良い。

#### ■人口減少の問題

- ・ 人のいない地域の施設は閉鎖し、隣接する地区の施設を利用してもらうのが究極の選択なのだろうが、施設が無くなると地域が無くなってしまわないか。
- ・ 人口が減少するから効率化を図る必要があるというのはわかるが、地域を活性化させてベースになる人口を増やすことも考えられるのではないか。潟東のあるべき姿を考えた上で公共施設のあり方を考えたい。

#### ■整備の方向性

- ・ 必要な機能を整理した上で、利用率や利用価値が低い施設は他の施設で補ったり、複合化するなどの方法が良い。
- ・ 必要な機能はしっかり残し、これまでの使い方も踏まえた上で配置を考えて統合する必要がある。
- ・ 施設の統合、民間への売却や貸し出しを行い、運営費や活動資金を捻出してはどうか。また、民間への売却や貸し出しで雇用を生み出すことも考えるべきだ。
- ・ 地区外からも人が来る様な充実した施設を作り、地域の活性化につなげたい。
- ・ 遠方から人が集まる施設だけでなく、地域のための施設の充実も目指したい。
- ・ ハードを維持しても利用する人が少なければ意味がないので、人に使ってもらうにはどうするかというソフトも考える必要がある。

### 【公共施設に対する提案】

#### ■望まれる機能

- ・ 地域活性化のための拠点として有効に活用できる様にしたい。
- ・ 高齢者が集まって楽しめたり、子どもが雨天時などに遊べる施設があると良い。
- ・ 施設の整備だけではなく、そこまでのアクセスのことも考えて欲しい。

#### ■小学校の跡地利用

##### ○全体

- ・ 小学校廃校後に施設をこれまでの様に使い続けられるのか、維持管理はどうするのか、跡地はどうなるのかということが気になっている。

- ・ 施設は使用し続けないと老朽化が進むので、廃墟にならない様に留意して欲しい。
- ・ 潟東中学校の敷地は駐車場もなく狭いので、小学校と併用するととなると敷地を広げなくてはならないのではないか。
- ・ これまで小学校が担っていた避難所としての機能は残して欲しい。
- ・ 高齢者や子どものための施設、子育て世代のための住宅など、住みやすさを向上させて若者を増やしたり、活性化につながる施設を整備できると良い。

○潟東東小学校

- ・ 洪水の際には避難所としては使えないので、洪水時に備えた避難所が必要だ。
- ・ 今使用しているグラウンドや体育館をメンテナンスしながらこのまま使い続けられる様にして欲しい。
- ・ 駐車場も広く敷地の余裕があるので、子供が集まる場などに活用したい。
- ・ 既に跡地の活用に関する噂が出ている。市の方向性を示して欲しい。

○潟東西小学校

- ・ 隣接のサルビアサッカー場と一体的に整備して遠方からも人が集まる様にし、地域おこしにつなげたい。
- ・ 周辺の市街地調整区域の縛りが外せれば土地利用の幅が広がり地域の発展につながる。
- ・ 比較的新しい体育館はそのまま活用したい。

○潟東南小学校

- ・ インターから近くて地の利があるので、高齢者の居場所など活性化につながるものを考えたい。
- ・ 今の避難所としての機能は残したい。
- ・ 潟東南小学校は中学校敷地へ移転するまでの間は利用されるが、将来的に跡地となるのだから今のうちから検討を始めておきたい。

■既存施設の整備

- ・ 改善センターは利用する団体も多く祭りにも利用できる施設なので耐震性などを整備して存続させたい。
- ・ 体育館や生活体験館などの既存施設は、現状の使い勝手の悪さを見直したり、利用率を踏まえて他の施設と複合させることを検討してはどうか。

以上